資料３

第3期庄原市教育振興基本計画策定に向けた

市民アンケート調査　集計結果

令和7年9月　庄原市教育員会

＜ 目 次 ＞

■調査概要 1

■集計 2

Ⅰ 回答者属性 2
Ⅱ 学校教育について 3
Ⅲ 家庭・地域の教育力について 5
Ⅳ 生涯学習・社会教育について 15
Ⅴ 社会教育施設（図書館・博物館）について 23

■アンケート用紙 32

■調査概要

1 調査目的

「第3期庄原市教育振興基本計画」の策定にあたり、計画内容や方向性を検討するための基礎資料として活用するため、市民アンケートを実施する。

2 調査対象

庄原市に住民登録のある満 18 歳以上(令和7年5月1日現在)の市民 2,000 人

3 配布数及び回答数

人口構成比が低い保護者世代の回答数を確保するため、年代ごとに同数(139)を無作為抽出する。

ただし、10 代は 18 歳、19 歳のみのため、他の年代(5歳ごと)の約2／5の数(54)とする。また、80 歳以上は、他の年代(5歳ごと)の2倍(278)とする。

なお、この場合、庄原市の人口構成比と回答構成比が大きく異なることとなるため、全回答数や地域別の分析は参考とし、世代別または保護者のみなど、ターゲットを絞った分析を行う。

	配布数 (均等割)	配布数 構成比	回答数	回収率	回答数 構成比	【参考】年齢別 人口	【参考】年齢別 人口構成比
18～19 歳	54	16.6%	63	19.0%	8.4%	512	9.4%
20～24 歳	139					1,090	
25～29 歳	139					953	
30～34 歳	139	27.8%	178	32.0%	23.6%	1,038	20.0%
35～39 歳	139					1,238	
40～44 歳	139					1,406	
45～49 歳	139					1,736	
50～54 歳	139	27.8%	254	45.7%	33.7%	1,840	28.4%
55～59 歳	139					1,637	
60～64 歳	139					1,856	
65～69 歳	139					2,366	
70～74 歳	139	27.8%	253	45.5%	33.6%	2,874	42.2%
75～79 歳	139					2,889	
80 歳以上	278					5,684	
(回答なし)			5		0.7%		
計	2,000	100.0%	753	**37.7%**	100.0%	27,119	100.0%

※ 年齢別人口は、住民基本台帳(R7.4.30 現在)による(外国人含む)

4 調査方法

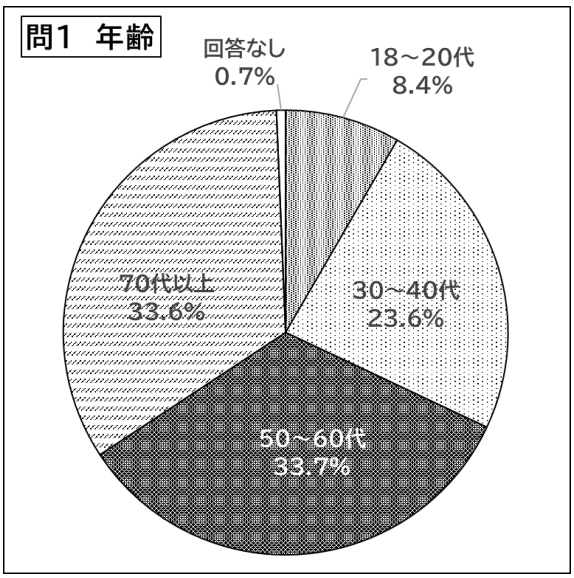
郵送配布・郵送回収

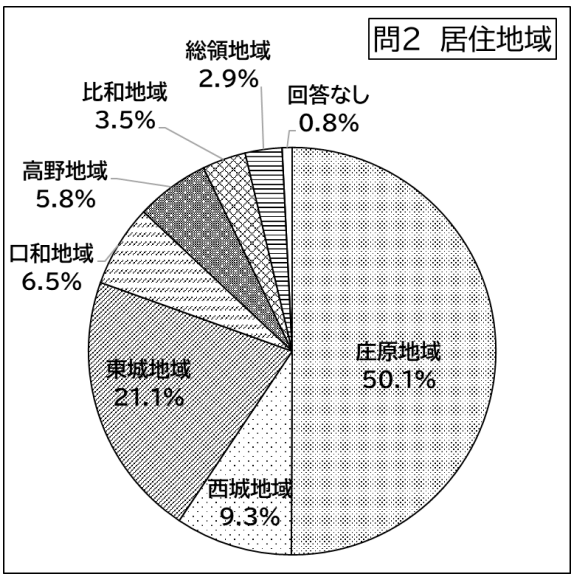
5 調査期間

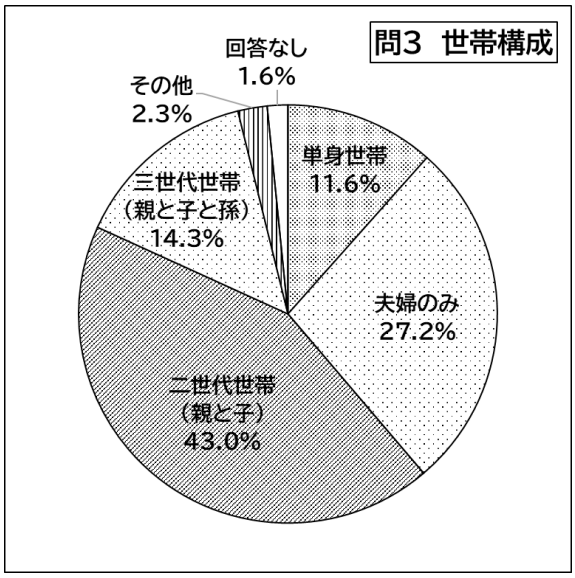
令和7年5月 26 日(月)～令和7年6月 10 日(火)

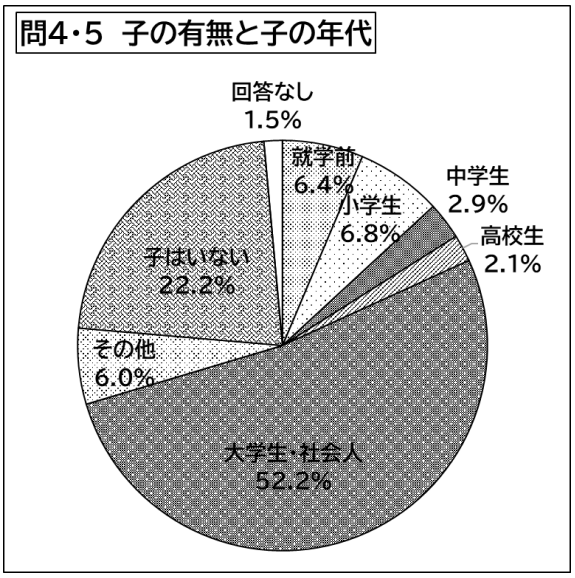
■集計

Ⅰ　回答者属性





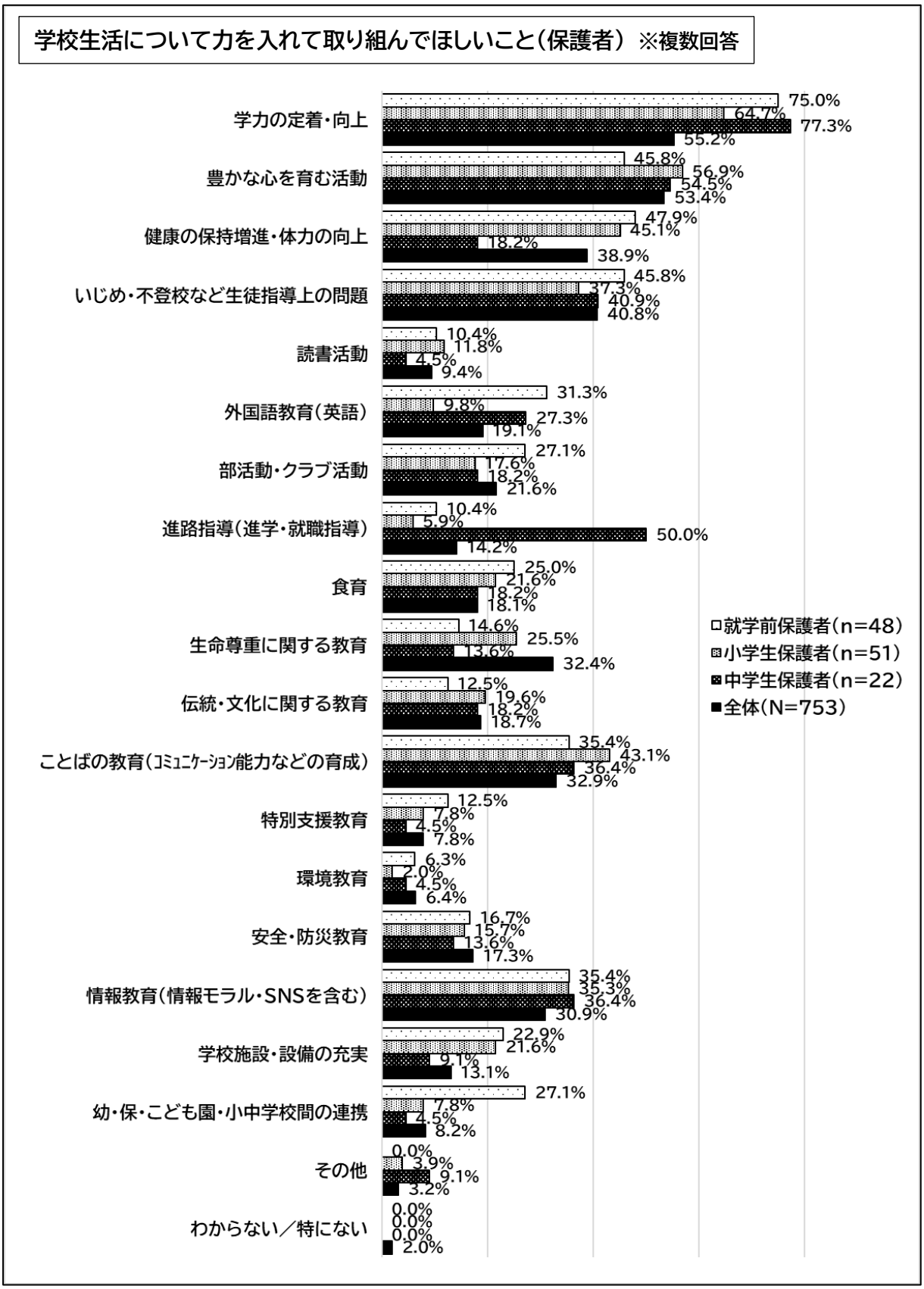




※問５「子の年代」は、一番下のお子さん（末子）についての回答

Ⅱ　学校教育について

問6　子供たちの学校生活について、特に関心の高い事項や力を入れて取り組んでほしいことは何ですか。（主なもの5つまで）



【保護者(子の年代別)の上位7位】

	1位	2位	3位		5位		7位
就学前保護者（n=48）	学力の定着・向上	健康の保持増進・体力の向上	豊かな心を育む活動	いじめ・不登校など生徒指導上の問題	ことばの教育（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力などの育成）	情報教育（情報モラル・SNSを含む）	外国語教育（英語）
	75.0%	47.9%	45.8%	45.8%	35.4%	35.4%	31.3%

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
小学生保護者（n=51）	学力の定着・向上	豊かな心を育む活動	健康の保持増進・体力の向上	ことばの教育（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力などの育成）	いじめ・不登校など生徒指導上の問題	情報教育（情報モラル・SNSを含む）	生命尊重に関する教育
	64.7%	56.9%	45.1%	43.1%	37.3%	35.3%	25.5%

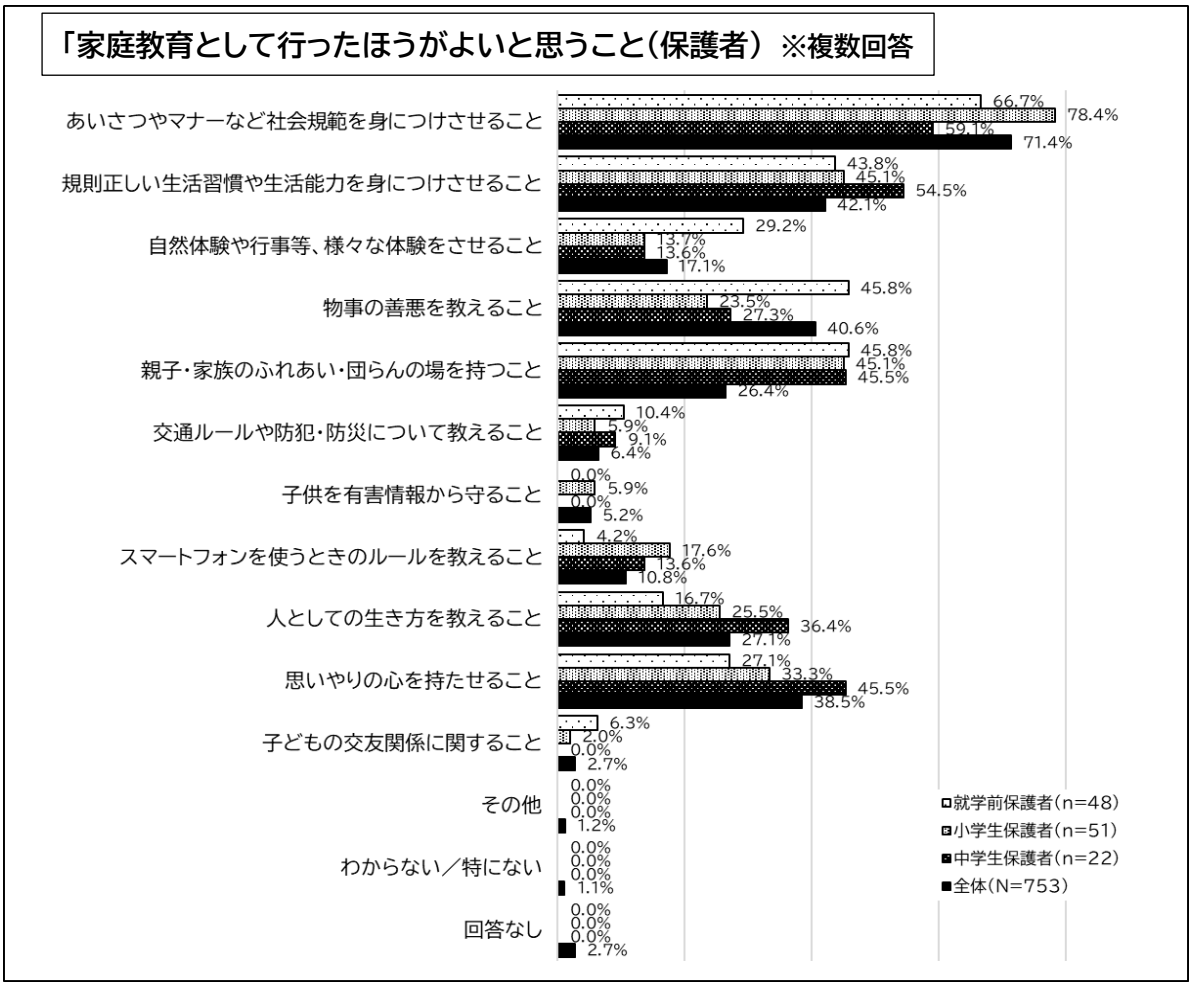
	1位	2位	3位	4位	5位		7位
中学生保護者（n=22）	学力の定着・向上	豊かな心を育む活動	進路指導（進学・就職指導）	いじめ・不登校など生徒指導上の問題	ことばの教育（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力などの育成）	情報教育（情報モラル・SNSを含む）	外国語教育（英語）
	77.3%	54.5%	50.0%	40.9%	36.4%	36.4%	27.3%

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
全体（N=753）	学力の定着・向上	豊かな心を育む活動	いじめ・不登校など生徒指導上の問題	健康の保持増進・体力の向上	ことばの教育（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力などの育成）	生命尊重に関する教育	情報教育（情報モラル・SNSを含む）
	55.2%	53.4%	40.8%	38.9%	32.9%	32.4%	30.9%

- 全体では、「学力の定着・向上」（55.2%）が最も多く、次いで「豊かな心を育む活動」（53.4%）、「いじめ・不登校など生徒指導上の問題」（40.8%）となっている。
- 保護者について末子の年代別にみると、子の年代に関わらず、「学力の定着・向上」が１位となっているほか、「豊かな心を育む活動」「いじめ・不登校など生徒指導上の問題」「ことばの教育」「情報教育(情報モラル・ＳＮＳを含む)」が上位にある。
- 中学生保護者は、３位に「進路指導(進学・就職指導)」（50.0%）が上がっており、就学前・小学生保護者よりも高い割合となっている。
- 就学前保護者は、「幼・保・こども園・小中学校間の連携」が 27.1%と、小中学生保護者に比べて、関心が高い。

Ⅲ　家庭・地域の教育力について

問7 「家庭教育」として行ったほうがよいと思うことは何ですか。(主なもの3つまで)



【保護者(子の年代別)の上位5位】

	1位	2位		4位	5位
就学前保護者（n=48）	あいさつやマナーなど社会規範を身につけさせること	物事の善悪を教えること	親子・家族のふれあい・団らんの場を持つこと	規則正しい生活習慣や生活能力を身につけさせること	自然体験や行事等、様々な体験をさせること
	66.7%	45.8%	45.8%	43.8%	29.2%

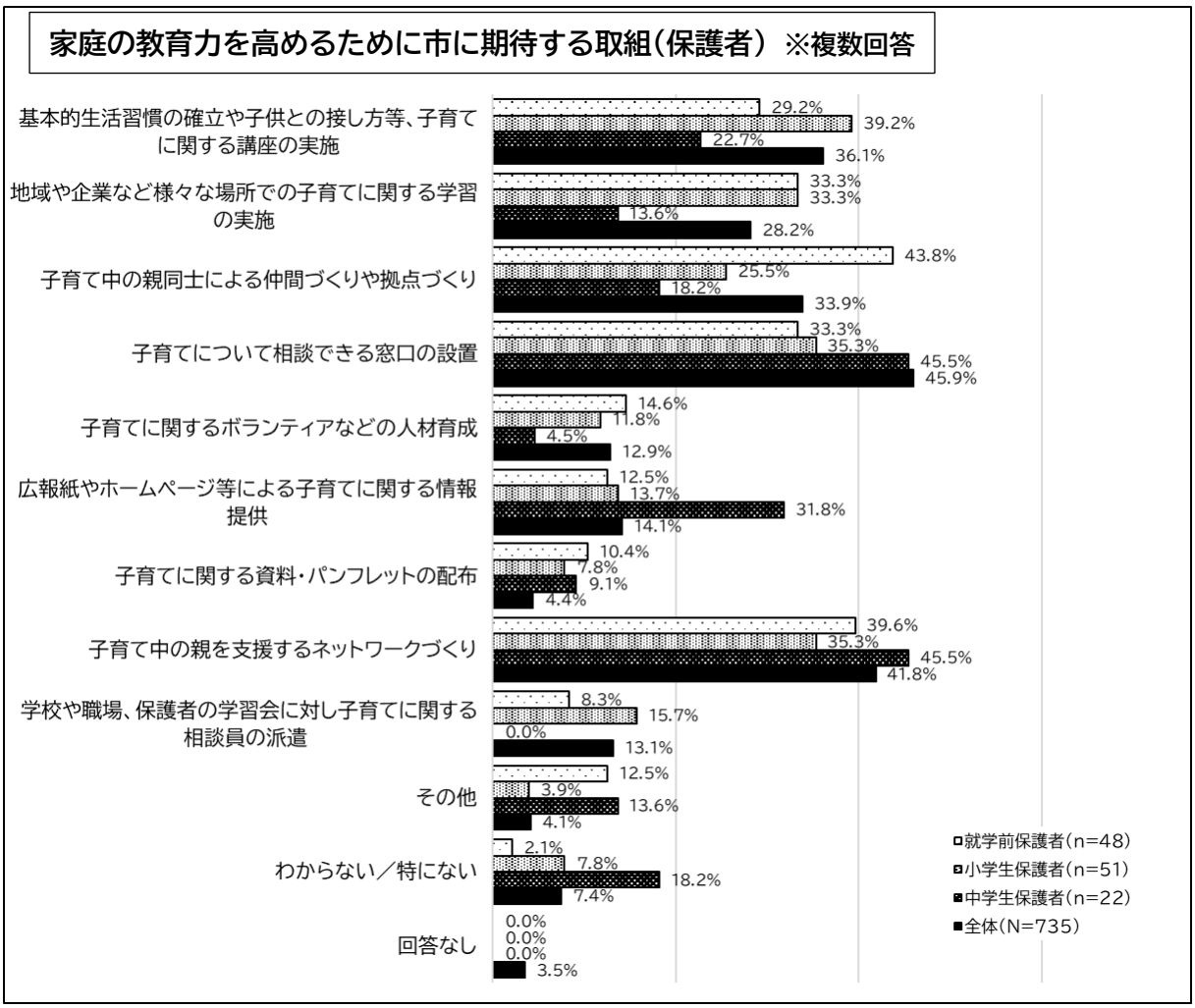
	1位	2位		4位	5位
小学生保護者（n=51）	あいさつやマナーなど社会規範を身につけさせること	規則正しい生活習慣や生活能力を身につけさせること	親子・家族のふれあい・団らんの場を持つこと	思いやりの心を持たせること	人としての生き方を教えること
	78.4%	45.1%	45.1%	33.3%	25.5%

	1位	2位	3位		5位
中学生保護者（n=22）	あいさつやマナーなど社会規範を身につけさせること	規則正しい生活習慣や生活能力を身につけさせること	親子・家族のふれあい・団らんの場を持つこと	思いやりの心を持たせること	人としての生き方を教えること
	59.1%	54.5%	45.5%	45.5%	36.4%

	1位	2位	3位	4位	5位
全体（N=753）	あいさつやマナーなど社会規範を身につけさせること	規則正しい生活習慣や生活能力を身につけさせること	物事の善悪を教えること	思いやりの心を持たせること	人としての生き方を教えること
	71.4%	42.1%	40.6%	38.5%	27.1%

- 全体では、「あいさつやマナーなど、社会規範を身につけさせること」(71.4%) が最も多く、次いで「規則正しい生活習慣や生活能力を身につけさせること」(42.1%)、「物事の善悪を教えること」(40.6%) となっている。
- 保護者について末子の年代別にみると、「あいさつやマナーなど、社会規範を身につけさせること」について、全て１位となっており、特に小学生保護者は 78.4%と高い割合となっている。
- 「親子・家族のふれあい・団らんの場を持つこと」は、子の年代に関わらず保護者は、約５割となっている。(就学前保護者 45.8%、小学生保護者 45.1%、中学生保護者 45.5%)
- 「物事の善悪を教えること」は、就学前保護者で 45.8%と、小中学生保護者よりも高い割合となっている。
- 「規則正しい生活習慣や生活能力を身につけさせること」「人としての生き方を教えること」「思いやりの心を持たせること」は、子の年代が上がるほど高い。

問8　家庭の教育力を高めるために、市にどのような取組を期待しますか。（主なもの3つまで）



【保護者(子の年代別)の上位5位】

	1位	2位	3位		5位
就学前保護者（n=48）	子育て中の親同士による仲間づくりや拠点づくり	子育て中の親を支援するネットワークづくり	地域や企業など様々な場所での子育てに関する学習の実施	子育てについて相談できる窓口の設置	基本的生活習慣の確立や子供との接し方等、子育てに関する講座の実施
	43.8%	39.6%	33.3%	33.3%	29.2%

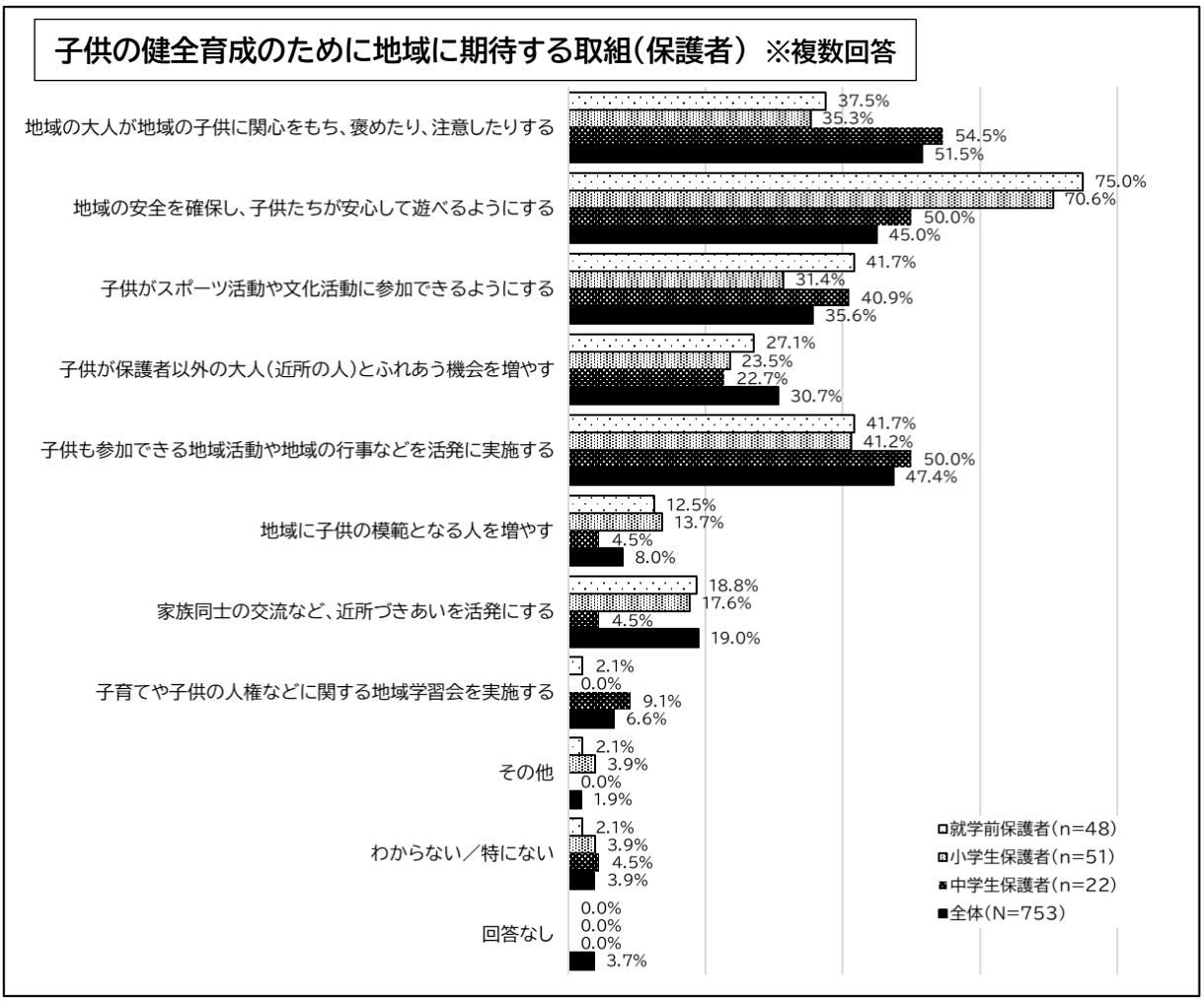
	1位	2位	2位	4位	5位
小学生保護者（n=51）	基本的生活習慣の確立や子供との接し方等、子育てに関する講座の実施	子育てについて相談できる窓口の設置	子育て中の親を支援するネットワークづくり	地域や企業など様々な場所での子育てに関する学習の実施	子育て中の親同士による仲間づくりや拠点づくり
	39.2%	35.3%	35.3%	33.3%	25.5%

	1位		3位	4位	5位
中学生保護者（n=22）	子育てについて相談できる窓口の設置	子育て中の親を支援するネットワークづくり	広報紙やホームページ等による子育てに関する情報提供	基本的生活習慣の確立や子供との接し方等、子育てに関する講座の実施	子育て中の親同士による仲間づくりや拠点づくり
	45.5%	45.5%	31.8%	22.7%	18.2%

	1位	2位	3位	4位	5位
全体（N=735）	子育てについて相談できる窓口の設置	子育て中の親を支援するネットワークづくり	基本的生活習慣の確立や子供との接し方等、子育てに関する講座の実施	子育て中の親同士による仲間づくりや拠点づくり	地域や企業など様々な場所での子育てに関する学習の実施
	45.9%	41.8%	36.1%	33.9%	28.2%

- 全体では、「子育てについて相談できる窓口の設置」(45.9%) が最も多く、次いで「子育て中の親を支援するネットワークづくり」(41.8%)、「基本的生活習慣の確立や子供との接し方等、子育てに関する講座の実施」(36.1%) となっている。
- 保護者について末子の年代別にみると、最も多い回答には差があり、就学前保護者では、「子育て中の親同士による仲間づくりや拠点づくり」(43.8%)、小学生保護者では、「基本的生活習慣の確立や子供との接し方等、子育てに関する講座の実施」(39.2%)、中学生保護者では「子育てについて相談できる窓口」(45.5%) となっている。
- 「子育て中の親を支援するネットワークづくり」は、子の年代に関わらず、約４割から５割であった。(就学前保護者 39.6%、小学生保護者 35.3%、中学生保護者 45.5%)

問9　子供の健全育成のために、地域にどのような取組を期待しますか。（主なもの3つまで）



【保護者(子の年代別)の上位5位】

	1位	2位		4位	5位
就学前保護者(n=48)	地域の安全を確保し、子供たちが安心して遊べるようにする	子供がスポーツ活動や文化活動に参加できるようにする	子供も参加できる地域活動や地域の行事などを活発に実施する	地域の大人が地域の子供に関心をもち、褒めたり、注意したりする	子供が保護者以外の大人(近所の人)とふれあう機会を増やす
	75.0%	41.7%	41.7%	37.5%	27.1%

	1位	2位	3位	4位	5位
小学生保護者(n=51)	地域の安全を確保し、子供たちが安心して遊べるようにする	子供も参加できる地域活動や地域の行事などを活発に実施する	地域の大人が地域の子供に関心をもち、褒めたり、注意したりする	子供がスポーツ活動や文化活動に参加できるようにする	子供が保護者以外の大人(近所の人)とふれあう機会を増やす
	70.6%	41.2%	35.3%	31.4%	23.5%

	1位	2位		4位	5位
中学生保護者(n=22)	地域の大人が地域の子供に関心をもち、褒めたり、注意したりする	地域の安全を確保し、子供たちが安心して遊べるようにする	子供も参加できる地域活動や地域の行事などを活発に実施する	子供がスポーツ活動や文化活動に参加できるようにする	子供が保護者以外の大人(近所の人)とふれあう機会を増やす
	54.5%	50.0%	50.0%	40.9%	22.7%

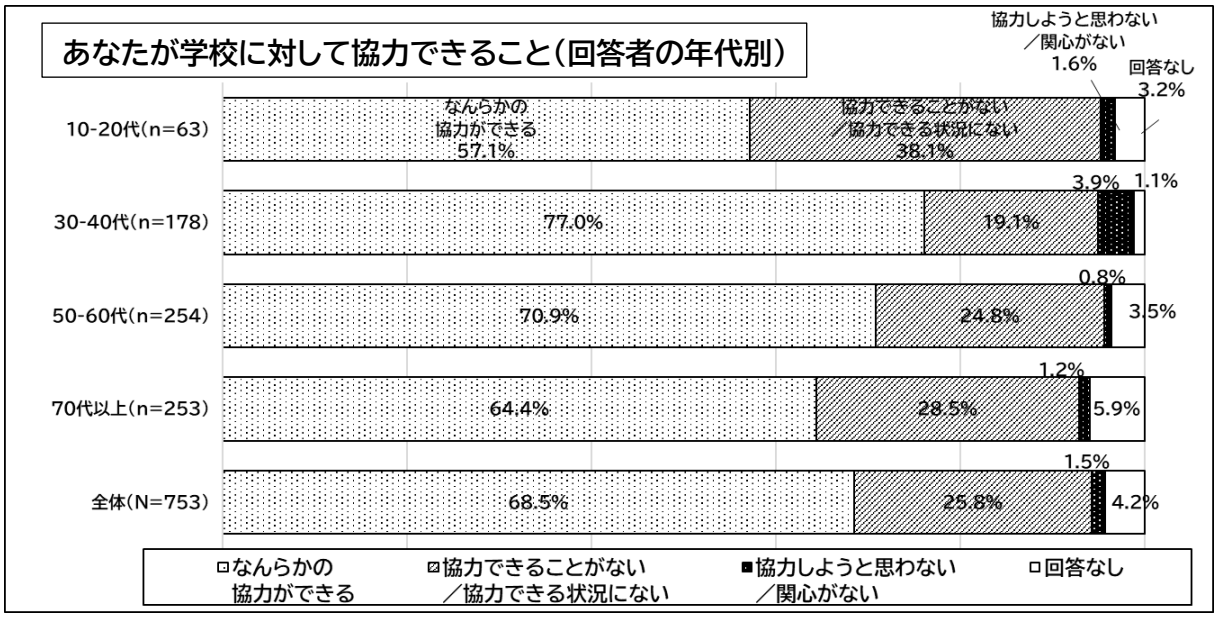
	1位	2位	3位	4位	5位
全体(N=753)	地域の大人が地域の子供に関心をもち、褒めたり、注意したりする	子供も参加できる地域活動や地域の行事などを活発に実施する	地域の安全を確保し、子供たちが安心して遊べるようにする	子供がスポーツ活動や文化活動に参加できるようにする	子供が保護者以外の大人(近所の人)とふれあう機会を増やす
	51.5%	47.4%	45.0%	35.6%	30.7%

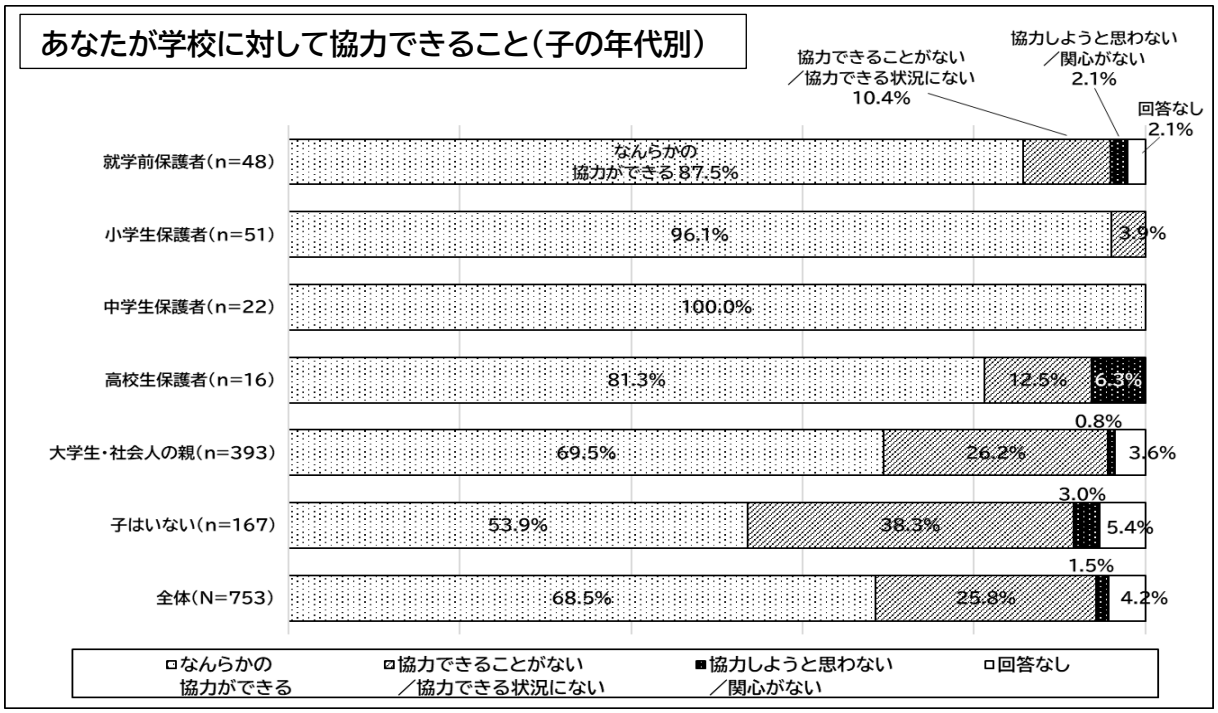
・　全体では、「地域の大人が地域の子供に関心をもち、褒めたり、注意したりする」(51.5%)が最も多く、次いで「子供も参加できる地域活動や地域の行事などを活発に実施する」(47.4%)、「地域の安全を確保し、子供たちが安心して遊べるようにする」(45.0%)となっている。

・　保護者について末子の年代別にみると、「地域の安全を確保し、子供たちが安心して遊べるようにする」の割合が高く、就学前保護者では 75.0%、小学生保護者では 70.6%となっている。

問 10　あなたが学校に対して協力できることは何ですか。（主なもの3つまで）

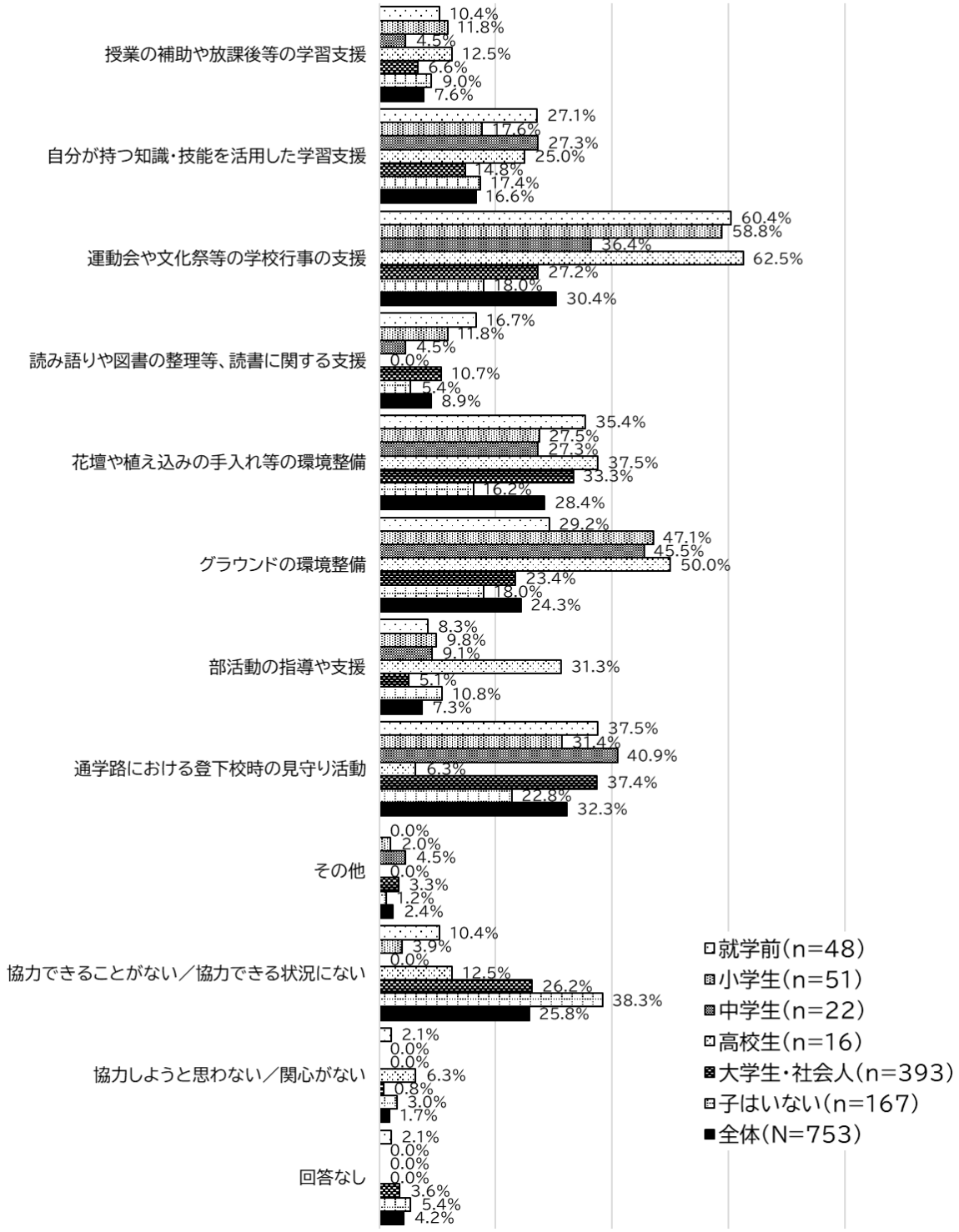
※　協力できる内容のいずれかを選択した回答者について、「何らかの協力ができる」として集計した。





- 全体では、「何らかの協力ができる」が 68.5%、「協力できることがない／協力できる状況にない」が 25.8%で、「協力しようと思わない／関心がない」は 1.5%だった。
- 回答者の年代別にみると、10-20 代が最も低いが、この世代は「子はいない」回答者が多いためと考えられる。また、50-60 代（70.9%）、70 代以上（64.4%）と、年齢が高くても、何らかの協力をしたいと考える回答者が多い。
- 保護者について末子の年代別にみると、小学生保護者の大多数が、また、中学生保護者では全員が、「何らかの協力ができる」と回答している。

あなたが学校に対して協力できること（子の年代別） ※複数回答



【保護者(子の年代別)の上位5位】

	1位	2位	3位	4位	5位
就学前 保護者(n=48)	運動会や文化祭等の学校行事の支援	通学路における登下校時の見守り活動	花壇や植え込みの手入れ等の環境整備	グラウンドの環境整備	自分が持つ知識・技能を活用した学習支援
	60.4%	37.5%	35.4%	29.2%	27.1%

	1位	2位	3位	4位	5位
小学生 保護者(n=51)	運動会や文化祭等の学校行事の支援	グラウンドの環境整備	通学路における登下校時の見守り活動	花壇や植え込みの手入れ等の環境整備	自分が持つ知識・技能を活用した学習支援
	58.8%	47.1%	31.4%	27.5%	17.6%

	1位	2位	3位	4位	
中学生 保護者(n=22)	グラウンドの環境整備	通学路における登下校時の見守り活動	運動会や文化祭等の学校行事の支援	花壇や植え込みの手入れ等の環境整備	自分が持つ知識・技能を活用した学習支援
	45.5%	40.9%	36.4%	27.3%	27.3%

	1位	2位	3位	4位	5位
高校生 保護者(n=16)	運動会や文化祭等の学校行事の支援	グラウンドの環境整備	花壇や植え込みの手入れ等の環境整備	部活動の指導や支援	自分が持つ知識・技能を活用した学習支援
	62.5%	50.0%	37.5%	31.3%	25.0%

	1位	2位	3位	4位	5位
大学生・社会人の親(n=393)	通学路における登下校時の見守り活動	花壇や植え込みの手入れ等の環境整備	運動会や文化祭等の学校行事の支援	グラウンドの環境整備	自分が持つ知識・技能を活用した学習支援
	37.4%	33.3%	27.2%	23.4%	14.8%

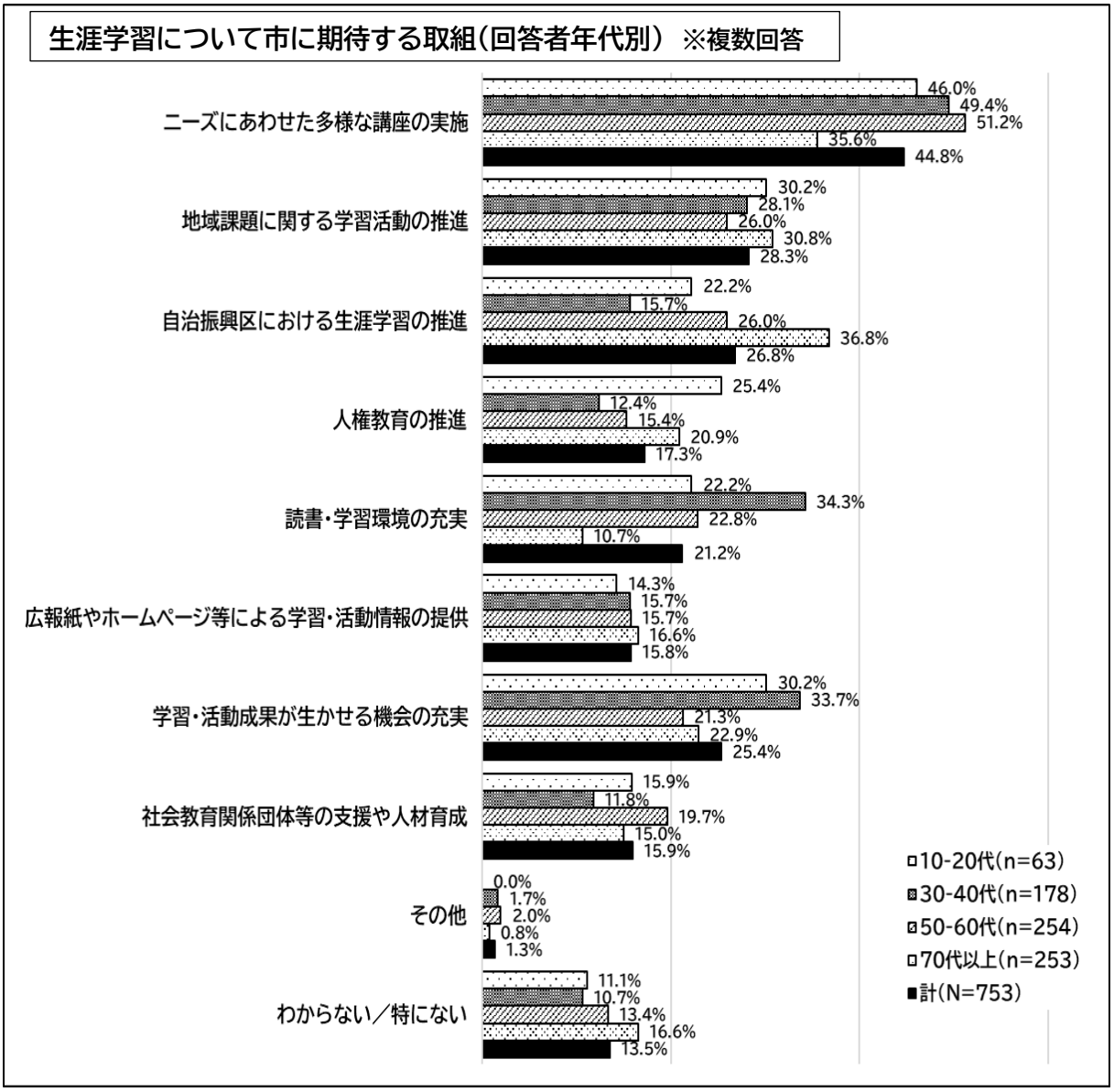
	1位	2位	2位	4位	5位
子はいない (n=167)	通学路における登下校時の見守り活動	グラウンドの環境整備	運動会や文化祭等の学校行事の支援	自分が持つ知識・技能を活用した学習支援	花壇や植え込みの手入れ等の環境整備
	22.8%	18.0%	18.0%	17.4%	16.2%

	1位	2位	3位	4位	5位
全体(N=753)	通学路における登下校時の見守り活動	運動会や文化祭等の学校行事の支援	花壇や植え込みの手入れ等の環境整備	グラウンドの環境整備	自分が持つ知識・技能を活用した学習支援
	32.3%	30.4%	28.4%	24.3%	16.6%

・　協力できる内容別では、全体では、「通学路における登下校時の見守り活動」（32.3%）が最も多く、次いで「運動会や文化祭等の学校行事の支援」（30.4%）、「花壇や植え込みの手入れ等の環境整備」（28.4%）であった。
・　保護者について末子の年代別にみると、「運動会や文化祭等の学校行事の支援」は、就学前保護者（60.4%）、小学生保護者（58.8%）、高校生保護者（62.5%）で最も多かった。

Ⅳ　生涯学習・社会教育について

問 11　生涯学習について、市にどのような取組を期待しますか。（主なもの3つまで）



【回答者(年代別)の上位5位】

	1位	2位	4位	5位	
10-20代 (n=63)	ニーズにあわせた多様な講座の実施	地域課題に関する学習活動の推進	学習・活動成果が生かせる機会の充実	人権教育の推進	自治振興区における生涯学習の推進	読書・学習環境の充実
	46.0%	30.2%	30.2%	25.4%	22.2%	22.2%

	1位	2位	3位	4位	5位	
30-40代 (n=178)	ニーズにあわせた多様な講座の実施	読書・学習環境の充実	学習・活動成果が生かせる機会の充実	地域課題に関する学習活動の推進	自治振興区における生涯学習の推進	広報紙やホームページ等による学習・活動情報の提供
	49.4%	34.3%	33.7%	28.1%	15.7%	15.7%

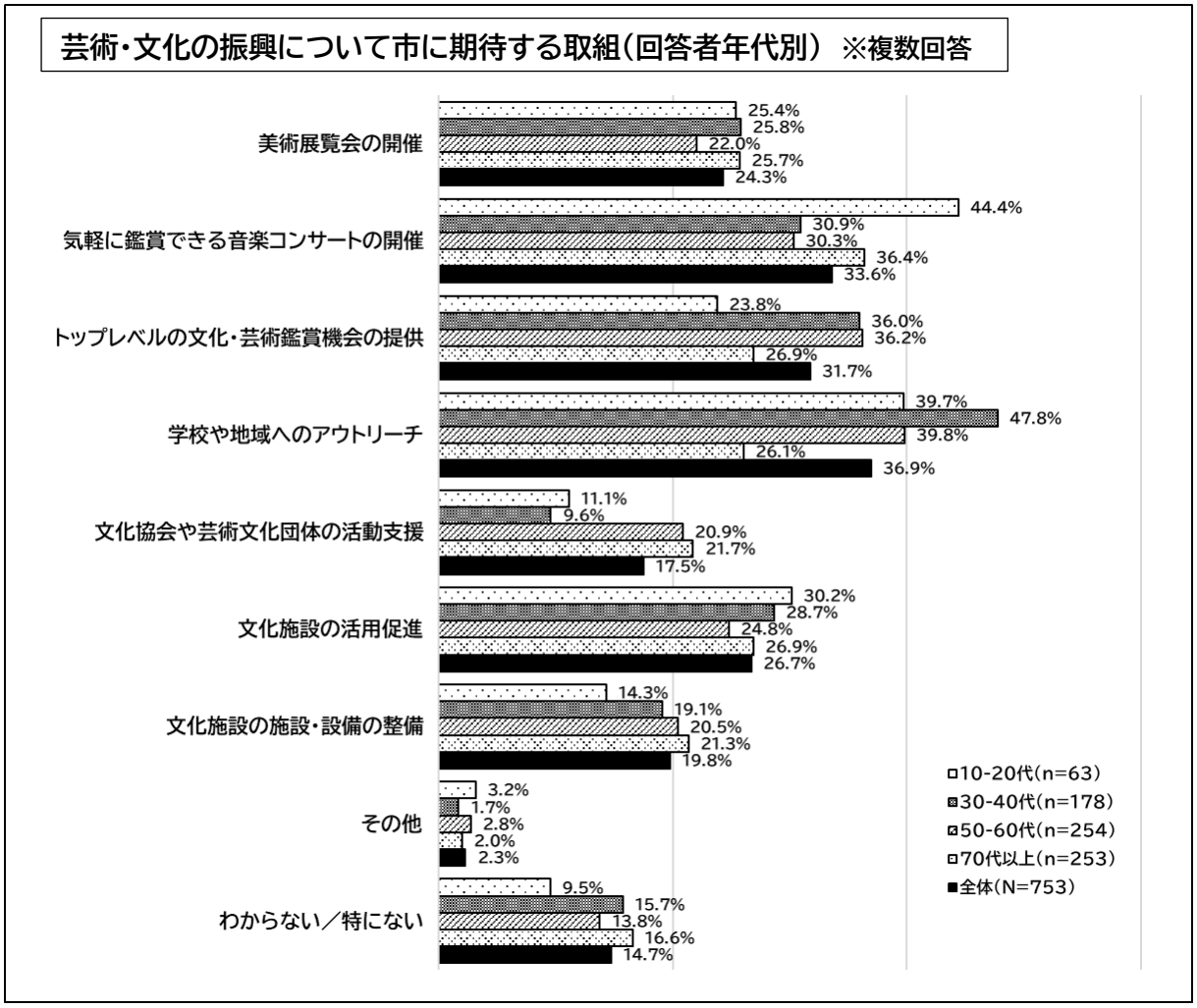
	1位	2位		4位	5位	6位
50-60代 (n=254)	ニーズにあわせた多様な講座の実施	地域課題に関する学習活動の推進	自治振興区における生涯学習の推進	読書・学習環境の充実	学習・活動成果が生かせる機会の充実	社会教育関係団体等の支援や人材育成
	51.2%	26.0%	26.0%	22.8%	21.3%	19.7%

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
70代以上 (n=253)	自治振興区における生涯学習の推進	ニーズにあわせた多様な講座の実施	地域課題に関する学習活動の推進	学習・活動成果が生かせる機会の充実	人権教育の推進	広報紙やホームページ等による学習・活動情報の提供
	36.8%	35.6%	30.8%	22.9%	20.9%	16.6%

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
全体 (N=753)	ニーズにあわせた多様な講座の実施	地域課題に関する学習活動の推進	自治振興区における生涯学習の推進	学習・活動成果が生かせる機会の充実	読書・学習環境の充実	人権教育の推進
	44.8%	28.3%	26.8%	25.4%	21.2%	17.3%

- 全体では「ニーズに合わせた多様な講座の実施」(44.8%)が最も多く、次いで「地域課題に関する学習活動の推進」(28.3%)、「自治振興区における生涯学習の推進」(26.8%)であった。
- 回答者の年代別では、「ニーズに合わせた多様な講座の実施」が、10-20 代(46.0%)、30-40 代(49.4%)、50-60 代(51.2%)で最も多くなっている。
- 70 代以上で最も多かった回答は「自治振興区における生涯学習の推進」(36.8%)であった。
- 「地域課題に関する学習活動の推進」は、いずれの世代も3割前後となっている。
- 「読書・学習環境の充実」は、30-40 代(34.3%)が最も割合が高い。
- 「学習・活動成果が生かせる機会の充実」は、10-20 代(30.2%)、30-40 代(33.7%)が、他の世代よりも割合が高くなっている。

問12　芸術・文化の振興について、市にどのような取組を期待しますか。（主なもの3つまで）



【回答者(年代別)の上位5位】

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
10-20代 (n=63)	気軽に鑑賞できる音楽コンサートの開催	学校や地域へのアウトリーチ	文化施設の活用促進	美術展覧会の開催	トップレベルの文化・芸術鑑賞機会の提供	文化施設の施設・設備の整備	文化協会や芸術文化団体の活動支援
	44.4%	39.7%	30.2%	25.4%	23.8%	14.3%	11.1%

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
30-40代 (n=178)	学校や地域へのアウトリーチ	トップレベルの文化・芸術鑑賞機会の提供	気軽に鑑賞できる音楽コンサートの開催	文化施設の活用促進	美術展覧会の開催	文化施設の施設・設備の整備	文化協会や芸術文化団体の活動支援
	47.8%	36.0%	30.9%	28.7%	25.8%	19.1%	9.6%

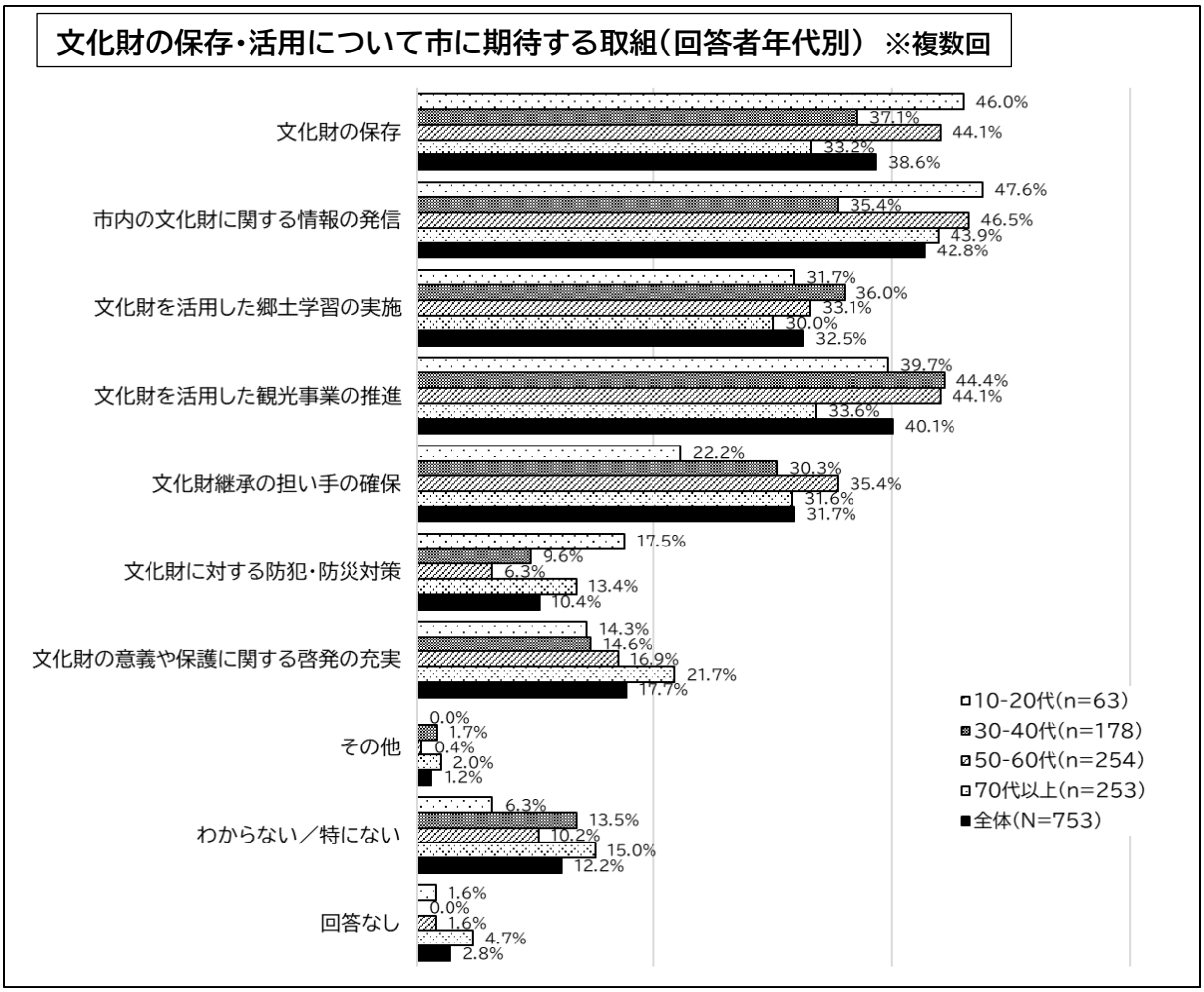
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
50-60代 (n=254)	学校や地域へのアウトリーチ	トップレベルの文化・芸術鑑賞機会の提供	気軽に鑑賞できる音楽コンサートの開催	文化施設の活用促進	美術展覧会の開催	文化協会や芸術文化団体の活動支援	文化施設の施設・設備の整備
	39.8%	36.2%	30.3%	24.8%	22.0%	20.9%	20.5%

	1位	2位	2位	4位	5位	6位	7位
70代以上 (n=253)	気軽に鑑賞できる音楽コンサートの開催	トップレベルの文化・芸術鑑賞機会の提供	文化施設の活用促進	学校や地域へのアウトリーチ	美術展覧会の開催	文化協会や芸術文化団体の活動支援	文化施設の施設・設備の整備
	36.4%	26.9%	26.9%	26.1%	25.7%	21.7%	21.3%

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
全体 (N=753)	学校や地域へのアウトリーチ	気軽に鑑賞できる音楽コンサートの開催	トップレベルの文化・芸術鑑賞機会の提供	文化施設の活用促進	美術展覧会の開催	文化施設の施設・設備の整備	文化協会や芸術文化団体の活動支援
	36.9%	33.6%	31.7%	26.7%	24.3%	19.8%	17.5%

- 全体では「学校や地域へのアウトリーチ」(36.9%) が最も多く、次いで「気軽に鑑賞できる音楽コンサートの開催」(33.6%)、「トップレベルの文化芸術鑑賞機会の提供」(31.7%) であった。
- 回答者の年代別では、「学校や地域へのアウトリーチ」は 30-40 代 (47.8%)、50-60 代 (39.8%) で最も多く、「気軽に鑑賞できる音楽コンサートの開催」は 10-20 代 (44.4%)、70 代以上 (36.4%) で最も多かった。
- 「トップレベルの文化芸術鑑賞機会の提供」では、30-40 代 (36.0%)、50-60 代 (36.2%) で、他の世代に比べて割合が高い。

問 13　文化財の保存・活用について、市にどのような取組を期待しますか。（主なもの3つまで）



【回答者(年代別)の上位5位】

	1位	2位	3位	4位	5位
10-20代 (n=63)	市内の文化財に関する情報の発信	文化財の保存	文化財を活用した観光事業の推進	文化財を活用した郷土学習の実施	文化財継承の担い手の確保
	47.6%	46.0%	39.7%	31.7%	22.2%

	1位	2位	3位	4位	5位
30-40代 (n=178)	文化財を活用した観光事業の推進	文化財の保存	文化財を活用した郷土学習の実施	市内の文化財に関する情報の発信	文化財継承の担い手の確保
	44.4%	37.1%	36.0%	35.4%	30.3%

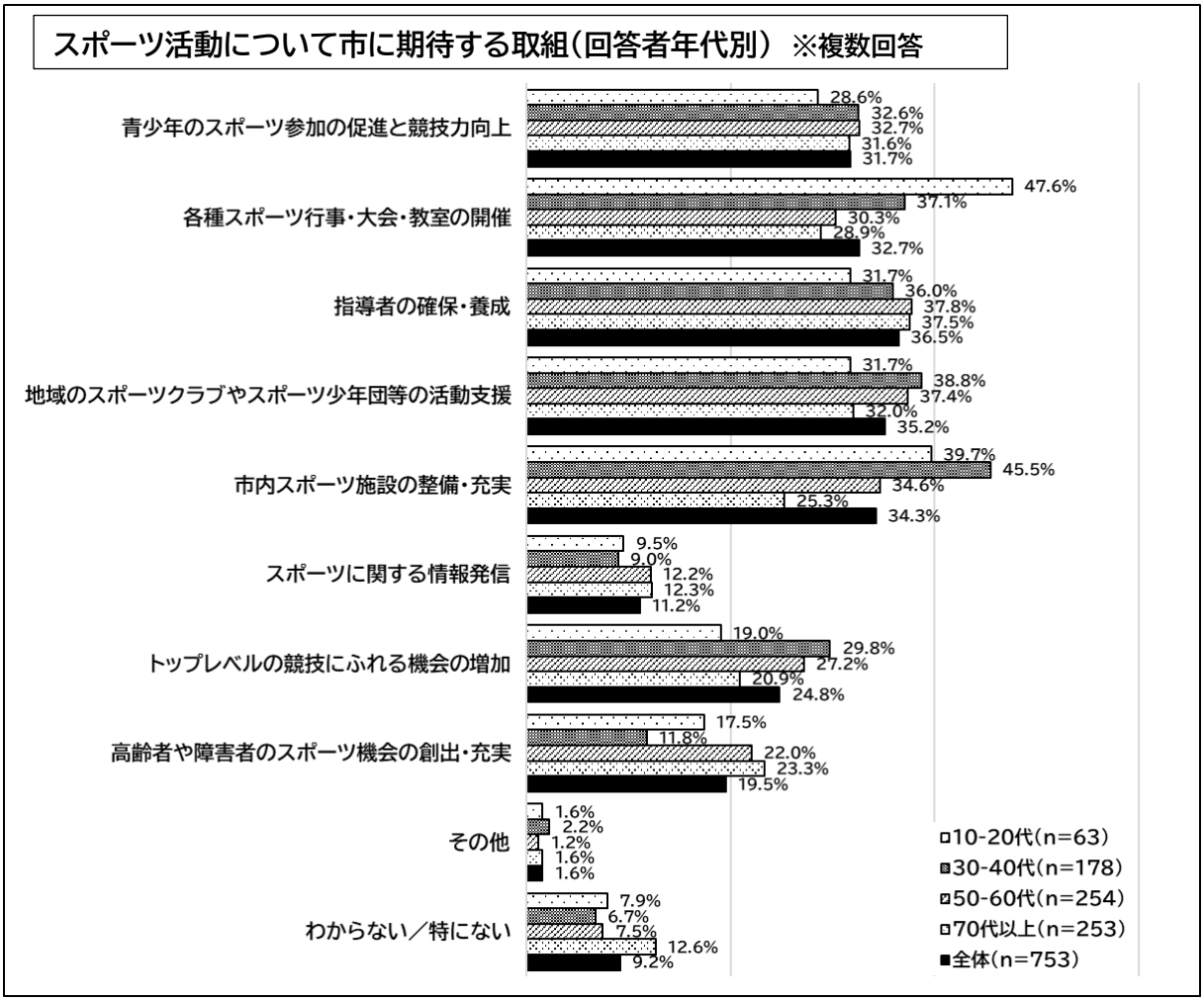
	1位	2位	2位	4位	5位
50-60代 (n=254)	市内の文化財に関する情報の発信	文化財の保存	文化財を活用した観光事業の推進	文化財継承の担い手の確保	文化財を活用した郷土学習の実施
	46.5%	44.1%	44.1%	35.4%	33.1%

	1位	2位	3位	4位	5位
70代以上 (n=253)	市内の文化財に関する情報の発信	文化財を活用した観光事業の推進	文化財の保存	文化財継承の担い手の確保	文化財を活用した郷土学習の実施
	43.9%	33.6%	33.2%	31.6%	30.0%

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (N=753)	市内の文化財に関する情報の発信	文化財を活用した観光事業の推進	文化財の保存	文化財を活用した郷土学習の実施	文化財継承の担い手の確保
	42.8%	40.1%	38.6%	32.5%	31.7%

- 全体では「市内の文化財に関する情報の発信」(42.8%) が最も多く、次いで「文化財を活用した観光事業の推進」(40.1%%)、「文化財の保存」(38.6%) であった。
- 回答者の年代別では、「市内の文化財に関する情報の発信」は、10-20 代 (47.6%)、50-60 代 (46.5%)、70 代以上 (43.9%) で最も高い割合であった。
- 「文化財を活用した観光事業の推進」は、30-40 代 (44.4%) で最も高い割合であり、50-60 代 (44.1%) も同程度の割合となっている。
- 「文化財の保存」は、10-20 代 (46.0%)、30-40 代 (37.1%)、50-60 代 (44.1%) で、それぞれ２番目に高い割合である。
- 「文化財継承の担い手の確保」は、10-20 代を除いた年代で、それぞれ３割を超えている。(30-40 代　30.3%、50-60 代　35.4%、70 代以上　31.6%)

問 14　スポーツ活動について、市にどのような取組を期待しますか。(主なもの3つまで)



【回答者(年代別)の上位5位】

	1位	2位	3位	3位	5位	6位
10-20代 (n=63)	各種スポーツ行事・大会・教室の開催	市内スポーツ施設の整備・充実	指導者の確保・養成	地域のスポーツクラブやスポーツ少年団等の活動支援	青少年のスポーツ参加の促進と競技力向上	トップレベルの競技にふれる機会の増加
	47.6%	39.7%	31.7%	31.7%	28.6%	19.0%

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
30-40代 (n=178)	市内スポーツ施設の整備・充実	地域のスポーツクラブやスポーツ少年団等の活動支援	各種スポーツ行事・大会・教室の開催	指導者の確保・養成	青少年のスポーツ参加の促進と競技力向上	トップレベルの競技にふれる機会の増加
	45.5%	38.8%	37.1%	36.0%	32.6%	29.8%

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
50-60代 (n=254)	指導者の確保・養成	地域のスポーツクラブやスポーツ少年団等の活動支援	市内スポーツ施設の整備・充実	青少年のスポーツ参加の促進と競技力向上	各種スポーツ行事・大会・教室の開催	トップレベルの競技にふれる機会の増加
	37.8%	37.4%	34.6%	32.7%	30.3%	27.2%

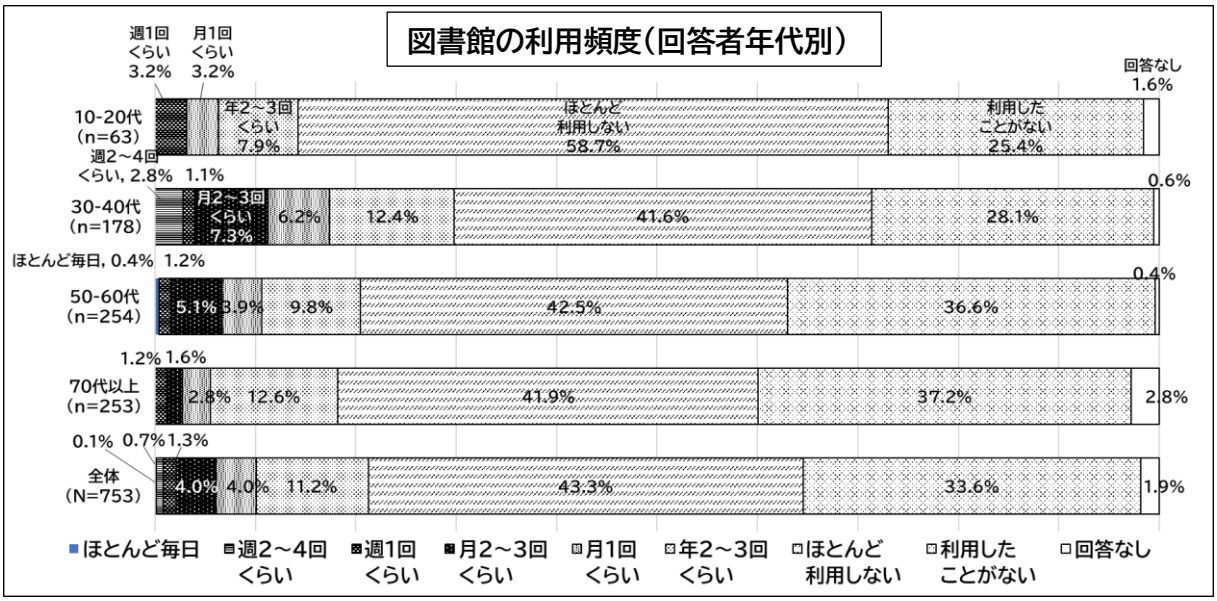
	1位	2位	3位	4位	5位	6位
70代以上 (n=253)	指導者の確保・養成	地域のスポーツクラブやスポーツ少年団等の活動支援	青少年のスポーツ参加の促進と競技力向上	各種スポーツ行事・大会・教室の開催	市内スポーツ施設の整備・充実	高齢者や障害者のスポーツ機会の創出・充実
	37.5%	32.0%	31.6%	28.9%	25.3%	23.3%

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
全体 (n=753)	指導者の確保・養成	地域のスポーツクラブやスポーツ少年団等の活動支援	市内スポーツ施設の整備・充実	各種スポーツ行事・大会・教室の開催	青少年のスポーツ参加の促進と競技力向上	トップレベルの競技にふれる機会の増加
	36.5%	35.2%	34.3%	32.7%	31.7%	24.8%

- 全体では「指導者の確保・養成」(36.5%) が最も多く、次いで「地域のスポーツクラブやスポーツ少年団等の活動支援」(35.2%)、「市内スポーツ施設の整備・充実」(34.3%) であった。
- 回答者の年代別で最も多かった回答は、10-20 代は「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」(47.6%)、30-40 代は「市内スポーツ施設の整備・充実」(45.5%)、50-60 代は「指導者の確保・育成」(37.8%)、70 代以上も「指導者の確保・育成」(37.5%) であった。
- 「指導者の確保・養成」「地域のスポーツクラブやスポーツ少年団等の活動支援」は、全ての年代で３割を超えている。
  - ➢ 指導者の確保･養成
    … 10-20 代 31.7%、 30-40 代 36.0%、 50-60 代 37.8%、 70 代以上 37.5%
  - ➢ 地域のスポーツクラブやスポーツ少年団等の活動支援
    … 10-20 代 31.7%、 30-40 代 38.8%、 50-60 代 37.4%、 70 代以上 32.0%

Ⅴ　社会教育施設(図書館・博物館)について

問 15　庄原市立図書館をどのくらい利用しますか。(電子図書の利用も含む)



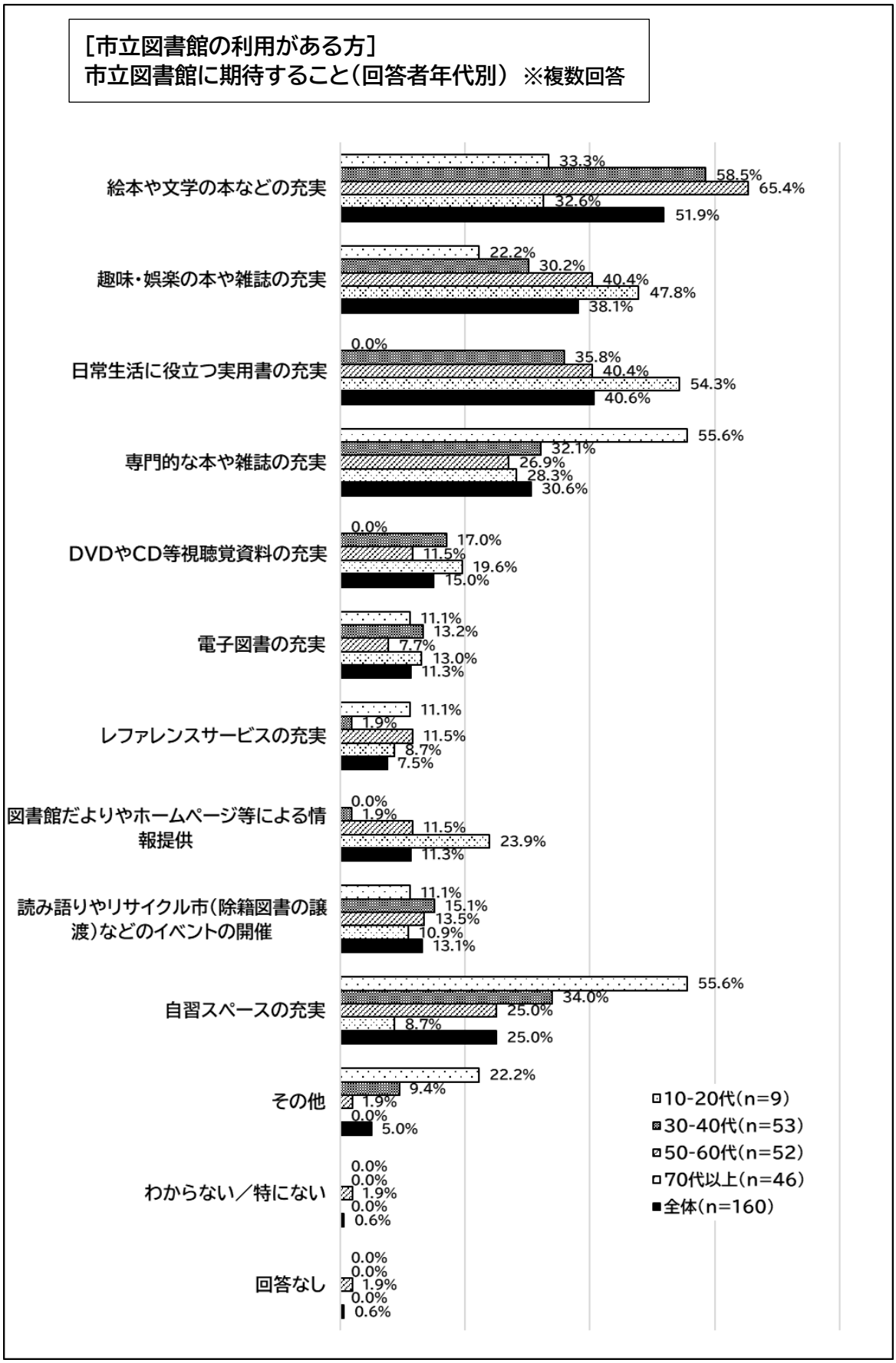
	ほとんど毎日	週2～4回くらい	週1回くらい	月2～3回くらい	月1回くらい	年2～3回くらい	ほとんど利用しない	利用したことがない	回答なし
10-20代(n=63)	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	3.2%	7.9%	58.7%	25.4%	1.6%
30-40代(n=178)	0.0%	2.8%	1.1%	7.3%	6.2%	12.4%	41.6%	28.1%	0.6%
50-60代(n=254)	0.4%	0.0%	1.2%	5.1%	3.9%	9.8%	42.5%	36.6%	0.4%
70代以上(n=253)	0.0%	0.0%	1.2%	1.6%	2.8%	12.6%	41.9%	37.2%	2.8%
全体(N=753)	0.1%	0.7%	1.3%	4.0%	4.0%	11.2%	43.3%	33.6%	1.9%

・　全体では「ほとんど利用しない」（43.3%）、「利用したことがない」（33.6%）を合わせた割合は 77.9%で、約８割が図書館を利用していない。利用していても「年２～３回くらい」が 11.2%であった。

・　回答者の年代別にみると、「ほとんど毎日」から「年２～３回ぐらい」までの割合の合計が最も高いのは 30-40 代（29.8%）で、次いで、50-60 代（20.4%）である。

問16（年2回以上図書館の利用があると答えた方へ）

庄原市立図書館に何を期待しますか。(主なもの3つまで)



【回答者(年代別)の上位5位】

	1位	3位	4位	5位		
10-20代（n=9）	自習スペースの充実	絵本や文学の本などの充実	趣味・娯楽の本や雑誌の充実	電子図書の充実	レファレンスサービスの充実	読み語りやリサイクル市（除籍図書の譲渡）などのイベントの開催
※参考	55.6%	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
30-40代（n=53）	絵本や文学の本などの充実	日常生活に役立つ実用書の充実	自習スペースの充実	専門的な本や雑誌の充実	趣味・娯楽の本や雑誌の充実	DVDやCD等視聴覚資料の充実	読み語りやリサイクル市（除籍図書の譲渡）などのイベントの開催
	58.5%	35.8%	34.0%	32.1%	30.2%	17.0%	15.1%

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
50-60代（n=52）	絵本や文学の本などの充実	趣味・娯楽の本や雑誌の充実	日常生活に役立つ実用書の充実	専門的な本や雑誌の充実	自習スペースの充実	読み語りやリサイクル市（除籍図書の譲渡）などのイベントの開催	DVDやCD等視聴覚資料の充実
	65.4%	40.4%	40.4%	26.9%	25.0%	13.5%	11.5%

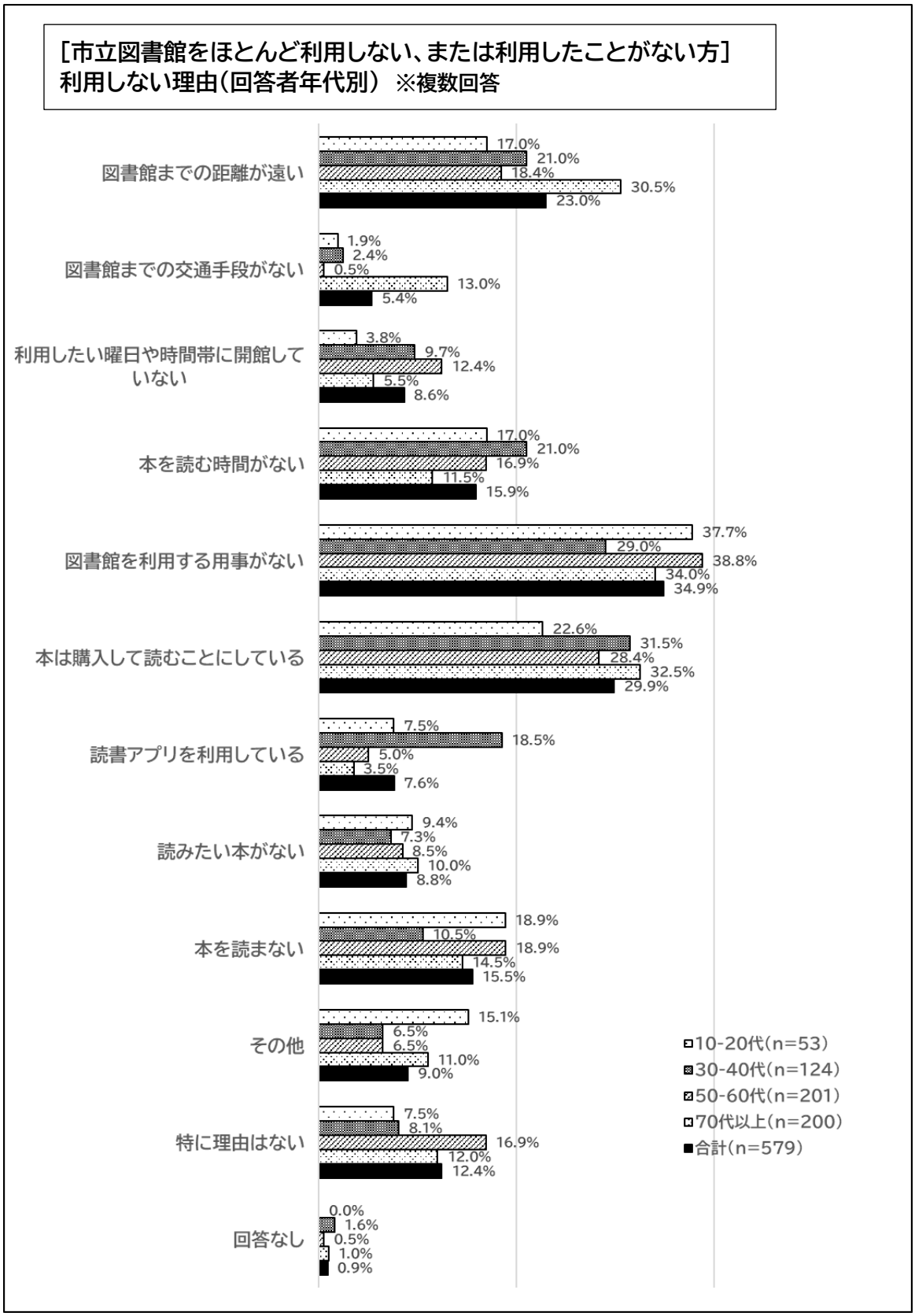
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
70代以上（n=46）	日常生活に役立つ実用書の充実	趣味・娯楽の本や雑誌の充実	絵本や文学の本などの充実	専門的な本や雑誌の充実	図書館だよりやホームページ等による情報提供	DVDやCD等視聴覚資料の充実	電子図書の充実
	54.3%	47.8%	32.6%	28.3%	23.9%	19.6%	13.0%

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
全体（n=160）	絵本や文学の本などの充実	日常生活に役立つ実用書の充実	趣味・娯楽の本や雑誌の充実	専門的な本や雑誌の充実	自習スペースの充実	DVDやCD等視聴覚資料の充実	読み語りやリサイクル市（除籍図書の譲渡）などのイベントの開催
	51.9%	40.6%	38.1%	30.6%	25.0%	15.0%	13.1%

- 全体では「絵本や文学の本などの充実」（51.9%）が最も多く、次いで「日常生活に役立つ実用書の充実」（40.6%）、「趣味・娯楽の本や雑誌の充実」（38.1%）であった。
- 回答者の年代別にみると、割合が最も高かった回答は、30-40 代は「絵本や文学の本などの充実」（58.5%）、50-60 代も「絵本や文学の本などの充実」（65.4%）、70 代以上は「日常生活に役立つ実用書の充実」（54.3%）であった。
- 「絵本や文学の本などの充実」は、50-60 代（65.4%）が最も割合が高く、次いで 30-40 代（58.5%）、70 代以上（32.6%）であった。

問17（ほとんど利用しない、利用したことがないと答えた方へ）

庄原市立図書館を利用されていない理由は何ですか。(主なもの3つまで)



【回答者(年代別)の上位5位】

	1位	2位	3位	4位	
10-20代 (n=53)	図書館を利用する用事がない	本は購入して読むことにしている	本を読まない	図書館までの距離が遠い	本を読む時間がない
	37.7%	22.6%	18.9%	17.0%	17.0%

	1位	2位	3位		5位
30-40代 (n=124)	本は購入して読むことにしている	図書館を利用する用事がない	図書館までの距離が遠い	本を読む時間がない	読書アプリを利用している
	31.5%	29.0%	21.0%	21.0%	18.5%

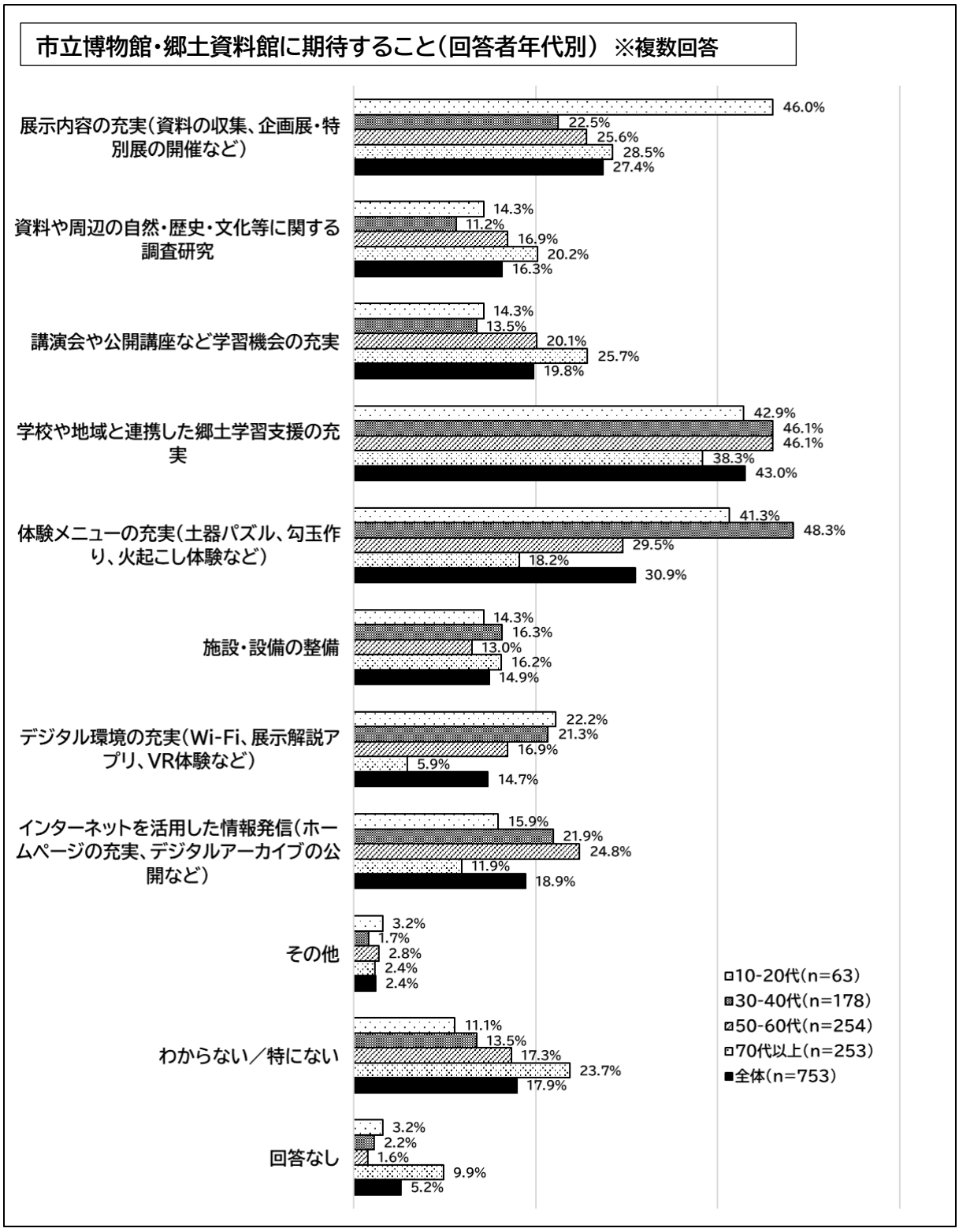
	1位	2位	3位	4位	5位
50-60代 (n=201)	図書館を利用する用事がない	本は購入して読むことにしている	本を読まない	図書館までの距離が遠い	本を読む時間がない
	38.8%	28.4%	18.9%	18.4%	16.9%

	1位	2位	3位	4位	5位
70代以上 (n=200)	図書館を利用する用事がない	本は購入して読むことにしている	図書館までの距離が遠い	本を読まない	図書館までの交通手段がない
	34.0%	32.5%	30.5%	14.5%	13.0%

	1位	2位	3位	4位	5位
合計 (n=579)	図書館を利用する用事がない	本は購入して読むことにしている	図書館までの距離が遠い	本を読む時間がない	本を読まない
	34.9%	29.9%	23.0%	15.9%	15.5%

- 全体では「図書館を利用する用事がない」(34.9%) が最も多く、次いで「本は購入して読むことにしている」(29.9%)、「図書館までの距離が遠い」(23.0%) であった。
- 回答者の年代別にみると、「図書館を利用する用事がない」「本は購入して読むことにしている」が、どの世代も１位または２位となっている。
- 「読書アプリを利用している」と回答した年代は、30-40 代が最も多く 18.5%であった。また、この世代は「本を読む時間がない」(21.0%) が他の世代よりも割合が高い。
- 「本を読まない」と回答した年代は、10-20 代、50-60 代が最も多く 18.9%であった。

問 18　庄原市の博物館・郷土資料館に何を期待しますか。（主なもの3つまで）



【回答者(年代別)の上位5位】

	1位	2位	3位	4位	5位
10-20代 (n=63)	展示内容の充実	学校や地域と連携した郷土学習支援の充実	体験メニューの充実	デジタル環境の充実	インターネットを活用した情報発信
	46.0%	42.9%	41.3%	22.2%	15.9%

	1位	2位	3位	4位	5位
30-40代 (n=178)	体験メニューの充実	学校や地域と連携した郷土学習支援の充実	展示内容の充実	インターネットを活用した情報発信	デジタル環境の充実
	48.3%	46.1%	22.5%	21.9%	21.3%

	1位	2位	3位	4位	5位
50-60代 (n=254)	学校や地域と連携した郷土学習支援の充実	体験メニューの充実	展示内容の充実	インターネットを活用した情報発信	講演会や公開講座など学習機会の充実
	46.1%	29.5%	25.6%	24.8%	20.1%

	1位	2位	3位	4位	5位
70代以上 (n=253)	学校や地域と連携した郷土学習支援の充実	展示内容の充実	講演会や公開講座など学習機会の充実	資料や周辺の自然・歴史・文化等に関する調査研究	体験メニューの充実
	38.3%	28.5%	25.7%	20.2%	18.2%

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=753)	学校や地域と連携した郷土学習支援の充実	体験メニューの充実	展示内容の充実	講演会や公開講座など学習機会の充実	インターネットを活用した情報発信
	43.0%	30.9%	27.4%	19.8%	18.9%

- 全体では「学校や地域と連携した郷土学習支援の充実」(43.0%) が最も多く、次いで「体験メニューの充実」(30.9%)、「展示内容の充実」(27.4%) であった。
- 回答者の年代別にみると、10-20 代は「展示内容の充実」(46.0%)、30-40 代は「体験メニューの充実」(48.3%)、50-60 代は「学校や地域と連携した郷土学習支援の充実」(46.1%)、70 代以上も「学校や地域と連携した郷土学習支援の充実」38.3%であった。
- 「学校や地域と連携した郷土学習支援の充実」は、10-20 代 (42.9%)、30-40 代 (46.1%) ともに2位で、割合も他の世代と同程度に高いものとなっている。
- 「体験メニューの充実」は、10-20 代 (41.3%) の3位であるが、割合は高い。

■アンケート用紙

第3期庄原市教育振興基本計画の策定に向けた

市民アンケート調査

市民の皆様におかれましては、日頃から、庄原市の教育にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、庄原市教育委員会では、教育振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画として、令和2年に「第2期庄原市教育振興基本計画」を策定し、「学びと誇りが実感できるまち」の実現に向け、さまざまな施策を取り組んできました。※

第2期計画が令和 7 年度で計画期間を終えることから、第3期庄原市教育振興基本計画の策定を進めております。

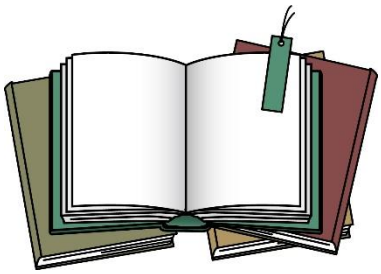
このアンケート調査は、市内にお住まいの方の中から無作為に抽出した2,000人の方を対象に、皆様の教育に対する考えやご意見をいただき、計画策定にあたり、その内容や方向性を検討するための基礎資料として活用することを目的としています。

ご回答いただいた内容は、全てを統計的に処理し、個人情報の保護に配慮することはもちろん、本調査の目的以外には一切使用しません。

お忙しいところ恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年5月　庄原市教育委員会

※「第2期庄原市教育振興基本計画」は、
つぎの二次元コードから市 HP で確認できます



ご記入にあたってのお願い

◆封筒の宛名のご本人がお答えください。 なお、事情によりご本人が記入できない場合は、
ご家族の方などがご本人から聞きとるなどして、代わりにご記入をお願いします。
◆調査には無記名でお答えください。
◆調査の回答は、調査票を返信用封筒に入れ、6月 10 日(火)までにご回答(投函)をお願いします。
※切手は不要です

1 あなたご自身のことについてお伺いします。

問1 あなたの年齢を教えてください。(令和7年5月1日現在)

1． 10 代	2． 20 代	3． 30 代	4． 40 代
5． 50 代	6． 60 代	7． 70 代	8． 80 代以上

問2 お住まいの地域を教えてください。

1． 庄原地域	2． 西城地域	3． 東城地域	4． 口和地域
5． 高野地域	6． 比和地域	7． 総領地域	

問3 あなたの世帯構成を教えてください。

1． 単身世帯	2． 夫婦のみ	3． 二世代世帯(親と子)
4． 三世代世帯(親と子と孫)	5． その他(	)

問4 あなたにお子様はいらっしゃいますか。

1． いる　2． いない

問4で「1. いる」を回答された方にお伺いします。

問5 一番下のお子様の年代を教えてください。

1． 就学前	2． 小学生	3． 中学生	4． 高校生	5． 大学生・社会人
6． その他(	)			

2 学校教育についてお伺いします。

問6 子供たちの学校生活について、特に関心の高い事項や力を入れて取り組んでほしいことは何ですか。

(主なもの5つまで○をつけてください)

1．学力の定着・向上	2．豊かな心を育む活動
3．健康の保持増進・体力の向上	4．いじめ・不登校など、生徒指導上の問題
5．読書活動	6．外国語教育（英語）
7．部活動・クラブ活動	8．進路指導（進学・就職指導）
9．食育	10. 生命尊重に関する教育
11. 伝統・文化に関する教育	12. ことばの教育（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力などの育成）
13. 特別支援教育	14. 環境教育
15. 安全・防災教育	16. 情報教育（情報モラル・ＳＮＳを含む）
17. 学校施設・設備の充実	
18. 保育所・認定こども園･幼稚園･ 小中学校間の連携	
19. その他(　　)	
20. わからない／特にない	

3 家庭・地域の教育力についてお伺いします。

問7 「家庭教育」として行ったほうがよいと思うことは何ですか。
（主なもの3つまで○をつけてください。）

1．あいさつやマナーなど社会規範を身につけさせること
2．規則正しい生活習慣や生活能力を身につけさせること
3．自然体験や行事等、様々な体験をさせること
4．物事の善悪を教えること
5．親子・家族のふれあい・団らんの場を持つこと
6．交通ルールや防犯・防災について教えること
7．子供を有害情報から守ること
8．スマートフォンを使うときのルールを教えること
9．人としての生き方を教えること
10．思いやりの心を持たせること
11．子供の交友関係に関すること
12．その他（　　）
13．わからない／特にない

問8 家庭の教育力を高めるために、市にどのような取組を期待しますか。
（主なもの3つまで○をつけてください。）

1．基本的生活習慣の確立や子供との接し方等、子育てに関する講座の実施
2．地域や企業など様々な場所での子育てに関する学習の実施
3．子育て中の親同士による仲間づくりや拠点づくり
4．子育てについて相談できる窓口の設置
5．子育てに関するボランティアなどの人材育成
6．広報誌やホームページ等による子育てに関する情報提供
7．子育てに関する資料・パンフレットの配付
8．子育て中の親を支援するネットワークづくり
9．学校や職場、保護者の学習会に対し子育てに関する相談員の派遣
10．その他（　　）
11．わからない／特にない

問9　子供の健全育成のために、地域にどのような取組を期待しますか。
（主なもの3つまで○をつけてください。）

1．地域の大人が地域の子供に関心をもち、褒めたり、注意したりする
2．地域の安全を確保し、子供たちが安心して遊べるようにする
3．子供がスポーツ活動や文化活動に参加できるようにする
4．子供が保護者以外の大人（近所の人）とふれあう機会を増やす
5．子供も参加できる地域活動や地域の行事などを活発に実施する
6．地域に子供の模範となる人を増やす
7．家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする
8．子育てや子供の人権などに関する地域学習会を実施する
9．その他（　　）
10．わからない／特にない

問10　あなたが学校に対して協力できることは何ですか。
（主なもの3つまで○をつけてください。）

1．授業の補助や放課後等の学習支援
2．自分が持つ知識・技能を活用した学習支援
3．運動会や文化祭等の学校行事の支援
4．読み語りや図書の整理等、読書に関する支援
5．花壇や植え込みの手入れ等の環境整備
6．グラウンドの環境整備
7．部活動の指導や支援
8．通学路における登下校時の見守り活動
9．その他（　　）
10．協力できることがない／協力できる状況にない
11．協力しようとは思わない／関心がない

4 生涯学習事業についてお伺いします。

問 11 生涯学習について、市にどのような取組を期待しますか。
（主なもの3つまで○をつけてください。）

1．ニーズに合わせた多様な講座の実施
2．地域課題に関する学習活動の推進
3．自治振興区における生涯学習の推進
4．人権教育の推進
5．読書・学習環境の充実
6．広報紙やホームページ等による学習・活動情報の提供
7．学習・活動成果が生かせる機会の充実
8．社会教育関係団体※等の支援や人材育成
9．その他（　　）
10．わからない／特にない

※社会教育関係団体：社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とする団体。
地域の子供会やＰＴＡ連合会、文化協会、スポーツ協会などがあります。

問 12 芸術･文化の振興について、市にどのような取組を期待しますか。
（主なもの3つまで○をつけてください。）

1．美術展覧会の開催
2．気軽に鑑賞できる音楽コンサート（市役所ロビーコンサートなど）の開催
3．トップレベルの文化・芸術鑑賞機会の提供
4．学校や地域へのアウトリーチ（出張コンサートや楽器体験ワークショップなど）
5．文化協会や芸術文化団体の活動支援
6．文化施設※の活用促進
7．文化施設の施設・設備の整備
8．その他（　　）
9．わからない／特にない

※文化施設：芸術文化活動を行ったり鑑賞したりする施設。
庄原市には、庄原市民会館、庄原市東城文化ホールの２施設があります。

問 13　文化財の保存･活用について、市にどのような取組を期待しますか。
（主なもの3つまで〇をつけてください。）

1．文化財※の保存
2．市内の文化財に関する情報の発信
3．文化財を活用した郷土学習の実施
4．文化財を活用した観光事業の推進
5．文化財継承の担い手の確保
6．文化財に対する防犯・防災対策
7．文化財の意義や保護に関する啓発の充実
8．その他（　　）
9．わからない／特にない

※文化財：文化財保護法では、「有形文化財（形のあるもの）」「無形文化財（形の見えないもの）」「民俗文化財（生活に密接したもの）」「記念物（史跡、名勝、天然記念物など）」「伝統的建造物群（家の集まり）」「埋蔵文化財（土に埋もれているもの）」の 6 種類があります。

問 14　スポーツ活動について、市にどのような取組を期待しますか。
（主なもの3つまで〇をつけてください。）

1．青少年のスポーツ参加の促進と競技力向上
2．各種スポーツ行事・大会・教室の開催
3．指導者の確保・養成
4．地域のスポーツクラブやスポーツ少年団等の活動支援
5．市内スポーツ施設の整備・充実
6．スポーツに関する情報発信
7．トップレベルの競技にふれる機会の増加
8．高齢者や障害者のスポーツ機会の創出・充実
9．その他（　　）
10．わからない／特にない

5 庄原市の社会教育施設(図書館、博物館)についてお伺いします。

問 15 庄原市立図書館をどのくらい利用しますか。(電子図書の利用も含む)

1． ほとんど毎日　2． 週に２～４回くらい　3． 週に１回くらい
4． 月２～３回くらい　5． 月に１回くらい　6． 年に２～３回くらい
7． ほとんど利用しない　8． 利用したことがない

問 15 で「1」～「6」を回答された方にお伺いします。

問16 庄原市立図書館に何を期待しますか。
（主なもの3つまで○をつけてください。）

1．絵本や文学の本などの充実
2．趣味・娯楽の本や雑誌の充実
3．日常生活に役立つ実用書の充実
4．専門的な本や雑誌の充実
5．DVD や CD 等、視聴覚資料の充実
6．電子図書の充実
7．レファレンス※サービスの充実
8．図書館だよりやホームページ等による情報提供
9．読み語りやリサイクル市(除籍図書の譲渡)などのイベントの開催
10. 自習スペースの充実
11. その他（　　）
12. わからない／特にない

※レファレンス：利用者の問い合わせに応じ、図書などの紹介や検索を行う業務

問15 で「7ほとんど利用しない」「8利用したことがない」と回答された方にお伺いします。

問 17 庄原市立図書館を利用されていない理由は何ですか。
（主なもの3つまで○をつけてください。）

1．図書館までの距離が遠い　2．図書館までの交通手段がない
3．利用したい曜日や時間帯に開館していない　4．本を読む時間がない
5．図書館を利用する用事がない　6．本は購入して読むことにしている
7．読書アプリを利用している　8．読みたい本がない
9．本を読まない
10. その他（　　）
11. 特に理由はない

問 18　庄原市の博物館･郷土資料館に何を期待しますか。
（主なもの3つまで○をつけてください。）

【博物館】庄原市帝釈峡博物館展示施設時悠館、庄原市立比和自然科学博物館

【郷土資料館】庄原市歴史民俗資料館、庄原市倉田百三文学館、庄原市口和郷土資料館

1．展示内容の充実（資料の収集、企画展・特別展の開催など）
2．資料や周辺の自然・歴史・文化等に関する調査研究
3．講演会や公開講座など学習機会の充実
4．学校や地域と連携した郷土学習支援の充実
（バス送迎による見学授業、児童・生徒との共同研究、出前講座など）
5．体験メニューの充実（土器パズル、勾玉作り、火起こし体験など）
6．施設・設備の整備
7．デジタル環境の充実（Wi-Fi、展示解説アプリ、ＶＲ体験など）
8．インターネットを活用した情報発信
（ホームページの充実、デジタルアーカイブの公開など）
9．その他（　　）
10．わからない／特にない

6 その他

問 19　最後に、本市の教育について、感じられていることや今後期待することがございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

【本調査の問い合せ先】
庄原市教育委員会教育部教育総務課
電話：0824-73-1182　メール：edu-soumu@city. shobara. lg. jp